

## 政経倶楽部連合会『名古屋支部』設立趣意書

有史以来 4度目の国難といわれる今回の大震災と原発事故。決定的に違うのは日本だけの大災害ではなく世界を巻き込んだ地球難になりつつあるということです。その事実から逃れ、右往左往する政治家や官僚。日本は今將に世界を救うべき意思決定を求められているのです。

日本を変えなければ日本の未来が危ない。誰もが責任を取らないこの時代に、日々の業績や自分の行動に責任の二文字を背負って必死に戦っている中小企業経営者こそが中心となって積極的に日本を変えていこう。そんな想いで政経倶楽部は創られ 8年の月日を積み重ねました。「学ぶ」・「伝える」・「育てる」を基本方針として、多くの有識者の皆さんの智慧から未来のあるべき姿を学びました。東京・千葉・福岡・大阪と支部拠点を設け、2冊の政策提言本を出版しました。日本の未来を託すべく多くの地方議員・首長の育成に協力し、現在 1000人の坂本竜馬を育てようとしています。

政経倶楽部は、今こそ歴史的な大局観に立ち、日本を世界の見本となる、魁となるべく次のような素晴らしい国創りを考えています。

- 1、 共生文明の創造            互いを認め合い助け合い活かしあう文明
- 2、 高德国家の建設           個人も国家も社会も品格を高めあう世界
- 3、 公益経済の確立           世のため・人のため・みんなのためになる経済

東日本が大きな痛手を受けた今、日本三大都市のひとつであり、中部最大都市である名古屋の皆さんの志と協力を強く欲しています。「中部から日本再生」は日本国民の切なる願いになりつつあります。政経倶楽部「名古屋支部」設立を機会に、是非志ある仲間として私たちの輪に加わって頂き、世界の見本になる新しい日本の国創りにご協力・ご参加くださいますようお願い申し上げます。

平成 24年 2月

名古屋支部 設立発起人

一般社団法人 政経倶楽部連合会	ファウンダー	寒竹 郁夫
	理事長	吉田 平
	副理事長	近藤 昌之
	副理事長	宮崎 浩治
	副理事長	山本 克己
	専務理事	坂間 明彦
	名古屋支部設立委員長	牧山 育美